

だれもが、まるごと受けとめられる社会をつくる

わっかは、だれもが、まるごと受けとめられる社会を目指して活動を行う団体です。

子どもを取り巻く環境について

子どもたちは、思うがままに過ごす時間や、まるごと受けとめられる経験が少なくなっています。いまの子どもたちは、自分では変えることができない

社会環境や大人の意識の変化により「思うがまま」に過ごす時間や、

まるごと受けとめられる経験が少なくなっています。

大人の価値観による評価、他者との比較や数字で表せる結果で、

子どもの存在を条件付きで認める場ばかりになり、

さらには、地域社会においても、

その子のまるごとを受けとめてくれる存在も少なくなっています。

また、学校、学習塾、習い事、スポーツクラブで多忙な毎日を送り

仲間も時間も空間もなくなりつつあります。

「わっか」は、2014年3月から活動をおこなっています。

活動当初は、月に1回冒険遊び場を、びわ湖のほとりで行っていました。

そこに来てくださる方の声に応えたくて2015年7月から、古民家の開放をはじめました。

毎週月曜日の放課後、日曜日は月に1、2回開けることから始めた古民家開放は

わっかを通じて出会った人の声に応えるように、活動の幅を広げています。

毎週 火～木曜日 13:00 ～ 17:00

金曜日 16:00 ～ 20:00

子ども 18名 おとな 8名

平日わっか

毎週火～金요일に開いている場です。参加費無料・申込不要。カリキュラムやプログラムは一切なしで、ただ開いている場です。そんな場所に集う人たちと、ゆったりとした時間を過ごしています。

□今月のこと

今月は、合計10日あけました。水・木は誰も来ない日もありますが、金曜日は必ず17:30頃から集いはじめて、晩御飯を一緒に食べて、その後、だらだらと時間をすごしています。20時に終わる時もあれば、もう少し過ごしている時もあります。居るのはいつものメンバーです、

第2、4日曜日 10:00 ～ 15:00

子ども 12名 おとな 4名

日ようわっか

第2、4日曜日のお昼に古民家を開放しています。お休みの日なので、ここに、くるのは小学校高学年までの親子連れが中心です。親子で、きていた子が大きくなったら一人で「月ようわっか」にくるということもあります。

□今月のこと

今月は、2日あけました。また、24日（土）に5年ほど前に、日ように来ている人たちと作った庭の片付けをしました。

ずっと貸していただいていた庭がいよいよ売れることになり、庭の木を欲しい人に持って帰ってもらいました。庭がなくなるのは寂しいですが、一緒に植えたメンバーでまた集まり、何本かはその人たちの自宅でもた植えられることになったのはうれしいです。





15:00になると古民家を閉める時間になります。でも、そこから遊びが楽しくなってくることもあります。

終わる時間は大人にとっての目安で、こどもにはあまりかん毛ないみたいです。

そんなときは、こどもたちの様子を見ながら、「そろそろ終わるよ」と声をかけるタイミングを探っています。



古民家は、昔ながらの構造で、田づくりに部屋が配置されています。写真の部屋は、そこに1つ四角が継ぎ足されたようにある部屋。

この押し入れにはおもちゃがたくさん詰まっているので、それを出して、ここで遊んでいます。別の部屋から、遊んでいる気配を感じながら世間話をしたりしています。



土間で、縄跳びなどで思いっきり遊んでいます。ときどき、暑くなるとなのかな、扇風機にあたっています。そして、また、しばらくすると遊び始めます。

9月になり、少し涼しくなってはきましたが、この日はまだ動く暑い日でした。

遊んで、体を冷やしてをしばらく繰り返して、ときどき、大人のいる部屋のほうに入ってきたりします。

なんかねえ、ゆったり時間が流れているんですね。

なおえもんの日記

曳山まつりの出店のお楽しみ なおえもん

米原では3年ぶりに曳山まつりが開催された。例年わっかでも出店を行っていたが、3年ぶりの出店をした。自分は責任者のポジションで、メンバーはわっかの管理人と、以前にも書いた県外からの友達A君とやった。それまでに計画を何ヶ月も前から行い、数日間準備・買い出しを行った。2日間の出店で、1日目は休憩時間を入れての6時間出店で、2日目は午前中だけの4時間出店だった。売上の差は無かった。わっかの出店の経験は過去あるが責任者としては初めてだったのと、3年ぶりということもあり緊張したが、ワクワクして楽しかった。また出店をやりたいと思った。

1日目の出店を終えて、家に帰る時はいつもと違うことがあった。それはA君が自分の家に泊まりに来ることだ。以前別の場所で、一緒に泊まったことがあるが、自分の家で友達が来て泊まるのは初めて。またA君も友達の家で泊まるのは初めてだった。家に行くまでに食事を済ませ、カードゲームで遊んだ。家に着いたら、いつもやってるゲームソフトで遊んだ。誰もがそうだと思うが、友達と遊ぶと夜遅くまで遊んでしまう。早く寝ようと思っても、とても楽しいからやめられない。テンションが上がってしまう。普段は出来ない特別な時間ではないかと思った。

曳山まつり、楽しい3日間をありがとう！



左の一番身長の高いのがなおえもん。

2022年9月に頂いたご寄付

物品でのご寄付 **3** 名（団体）



お菓子や、食べ物をいただいております。

マンスリーサポーター **29** 名

荒巻りか、大溪麻紀子、後藤基志、佐藤笑代、佐藤真紀、佐藤桃子、柴原隼、鈴木愛子、津田千恵子、永峰美佳、西村、廣部奈緒美、藤澤彰祐、べっかむ、前田諭、マコトヤ、南出吉祥、三輪恵美、吉田尚子、安田寿彦
(敬称略)

都度ご寄付 **1** 名

助成・補助団体、応援企業 **5** 団体（2022年度）

米原市、独立行政法人 福祉医療機構、タノシニア合同会社、マコトヤ、紙eco（敬称略 2022.9.10 現在）

Facebook こどもと大人の居場所 わっか

Twitter アカウント名 @NpoWacca

Instagram アカウント名 @npo_wacca

SNS もよかったら、除いてみてください。日々の様子や、古民家を開ける日などを載せています。